



はだのようごがっこう かつよう  
秦野養護学校のICT活用について

ICT担当 城所 寛史

じゅぎょうで、よりわかりやすい学習のサポートとしてタブレット端末を使っています。また、余暇活動の一つの手立てとして適切なタブレット端末の使用方法について学習しています。

例えば、自分で作った作品をクラスメイトに紹介する際に、大型テレビにタブレット端末の画面を大きく映したり、作成者自線で作成の手順を説明したりしています。また、授業の様子を撮影し、授業最後の振り返りとしても活用しています。その他にも、アプリを使ってひらがなの書き取りや足し算の勉強を行い、余暇活動の勉強として、お絵かきやリズム遊びのアプリも使用しています。

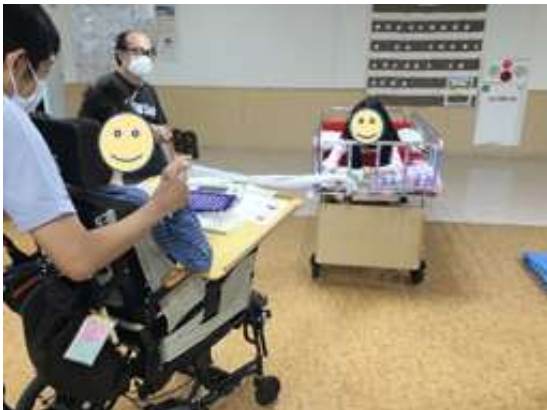
さらに、入院中の児童生徒がオンラインで他部門の児童生徒と交流したり、他校の児童生徒とつながりできるように遠隔教育の体制整備も進めているところです。

ICT（インフォメーション & コミュニケーション テクノロジー）が日常になりつつある今、児童生徒に適した活用を考え、日々の授業に活かしています。学習の幅が広がり、児童生徒のみなさんの「できた！」に繋がることを願っています。



B

B課程は、6、7月も病棟での授業を継続しています。病室内で個別に行う授業が多く、集まる機会は少ないのですが、6月の「わくわく」の授業では、それぞれの病棟ごとに数人が集まり、誕生日を祝ったり、ロールペーパー相撲をしたりしました。ロールペーパーは握り方や引っ張り方などで、すぐに切れてしまったりなかなか切れなかったり…。短い時間でしたが、ワイワイガヤガヤ賑やかなひと時を過ごしました。



D

学園の窓から見える木々の葉が太陽に照らされ、キラキラ輝く季節になりました。弘済学園の子どもたちも毎日の学習で目を輝かせたり、明るい笑顔をみせてくれたりしています。これからも暑さにまけず、元気に活動していきましょう。

今回は基礎3クラスと基礎4クラスのグループ学習の様子について紹介します。



### <基礎3クラス>

図工の授業でステンドグラスを作りました。材料はラミネートフィルムとビニールテープと色ペンです。フィルムにビニールテープを貼った後、好きな色を選んで自由に塗りました。

みんな集中して色を塗り、すてきなステンドグラスができました。ガラスに貼ったステンドグラスは太陽の光に照らされ、とてもきれいです。

### <基礎4クラス>

音楽の授業では「ドレミの歌」のベル演奏に取り組んでいます。ピアノの伴奏に合わせて、机の上に置かれたベルを順番にならしていきます。1回目の授業では「ドレミファソラシド」の8音でしたが、2回目の授業では「ソドラファミドレ・・・」の14音をならしました。ピアノとベルの音に耳を傾けながら優しくベルを奏でて、とても素敵な演奏会になりました。



F

「学習でタブレット端末アプリを活用！」

「ひらがな」アプリは、練習したいひらがなを選択すると画面上に文字と書き順が表示され、なぞって書く練習ができます。児童が休み時間に行ったところ、ひらがなに興味を持つことができました。また、書くことが苦手な児童に、書くことへの抵抗感を減らすことができました。

「Quiver」アプリは、付属の色々な種類の塗り絵があります。クレヨンやペンで色を塗って、タブレット端末で映すことで3D化できます。学習の中で行ったところ、塗り絵に興味をもち、クレヨンで楽しんで描くことができました。



Quiver



塗り絵に色を付けて、タブレット端末で映したものを、大型テレビで見ました。大迫力！

